



# 株式会社オウケイウェイヴ

## 第24期 決算説明会

2023年8月14日

代表取締役社長 杉浦元

### 【約束とお願い】

- ・ 本説明会は記録のため、録画をしております。  
録画データを広く公開する予定はございませんが、あらかじめご了承ください。
- ・ 公序良俗に反する発言、行動等をお見受けした場合には、  
本会場から退出をしていただくことがあります。
- ・ 発言時以外はミュートをお願いいたします。
- ・ 画面はON/OFFどちらでも結構です。
- ・ ご質問は随時、チャットからでもお受けいたします。



## 目次

- 01 2023年6月期（当期）決算内容について
- 02 当期の事業状況について
- 03 内部管理体制強化の改善状況について
- 04 Q&A（Oshiete Kotaeru）

# 2023年6月期（第24期） 決算状況まとめ

- **BS（貸借対照表）の資産の部について**
  - OKFUND通じ投資したアップライツを連結対象から外した影響が大きい。  
特に、長期預け金7億2600万円などが連結除外により減少
- **BSの負債・純資産の部について**
  - 9856万円の債務超過
  - 株主割当の新株予約権の6月行使により、4億726万円増資
  - 短期借入金の残高4億6000万円
- **PL（損益計算書）について**
  - アップライツを連結対象から外した影響が大きい
  - アップライツを除いての比較を行った場合、売上高は前期比微増（約960万円増）。  
広告売上の減少をGRATICAの売上増によりカバーし、GRATICAの売上比率が増加
  - コスト項目については、大幅な減少（後述の「これまでの取り組み」参照）
  - 当期の推移は、人員削減を含む大幅なコスト削減を行う中で、売上を維持

# 連結BS (資産)

(単位：千円)	FY2022/6	FY2023/6	増減
	期末	期末	
<b>流動資産</b>	<b>1,124,120</b>	<b>675,289</b>	<b>-448,831</b>
(主な増減項目)			
現金及び預金	460,508	155,662	-304,845
売掛金	237,344	19,607	-217,737
未収入金	1,243	407,265	406,022
未収消費税	140,639	46,118	-94,521
未収還付法人税等	217,481	12,624	-204,857
<b>固定資産</b>	<b>1,735,218</b>	<b>1,069,174</b>	<b>-666,044</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>11,277</b>	<b>0</b>	<b>-11,277</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>23,103</b>	<b>0</b>	<b>-23,103</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,700,838</b>	<b>1,069,174</b>	<b>-631,663</b>
(主な増減項目)			
差入保証金	175,532	9,312	-166,219
長期預け金	726,148	-	-726,148
<b>資産合計</b>	<b>2,859,339</b>	<b>1,744,463</b>	<b>-1,114,876</b>

## ■ 流動資産

### ・現金及び預金

営業活動によるキャッシュ・フロー：△523百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー：60百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー：459百万円

アップライツの連結除外による減少 293百万円

### ・売掛金

アップライツ連結除外の影響等

### ・未収入金

株主割当の新株予約権6月行使分 (407百万円)

### ・未収消費税、未収還付法人税等

還付金の入金による減少

## ■ 固定資産

### ・差入保証金

オフィス移転に伴う減少等

### ・長期預け金

アップライツ連結除外の影響 (貸倒引当金を363百万円計上していたため、実質減少額は貸倒引当金控除後の363百万円)

# 連結BS（負債・純資産）

	FY2022/6	FY2023/6	
(単位：千円)	期末	期末	増減
<b>流動負債</b>	<b>1,958,361</b>	<b>1,843,026</b>	<b>-115,335</b>
(主な増減項目)			
買掛金	377,541	8,484	-369,057
短期借入金	-	460,000	460,000
特別調査費用引当金	99,337	-	-99,337
資産除去債務	101,200	-	-101,200
<b>固定負債</b>	<b>41,410</b>	<b>-</b>	<b>-41,410</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,999,771</b>	<b>1,843,026</b>	<b>-156,745</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>587,956</b>	<b>-71,146</b>	<b>-659,103</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>-15,736</b>	<b>-27,416</b>	<b>-11,679</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>287,347</b>	<b>-</b>	<b>-287,347</b>
<b>純資産合計</b>	<b>859,567</b>	<b>-98,562</b>	<b>-958,130</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,859,339</b>	<b>1,744,463</b>	<b>-1,114,876</b>

## ■ 流動資産

- ・買掛金  
アップライツ連結除外の影響等
- ・短期借入金  
OKWにて新規借入実施による増加
- ・特別調査費用引当金  
第三者委員会の費用が確定したことによる取り崩しによる減少
- ・資産除去債務  
オフィス移転に伴う取り崩しによる減少（移転後の新オフィスの資産除去債務は重要性が乏しいため計上を省略）

## ■ 固定負債

アップライツ連結除外の影響

## ■ 純資産

- ・株主資本  
株主割当の新株予約権の払込による増資407百万円、当期純損失△1,066百万円による変動
- ・非支配株主持分  
アップライツ連結除外の影響等

# 連結PL (累計期間)

(単位：千円)	FY2022/6	FY2023/6	増減
	通期	通期	
売上高	832,474	146,557	-685,916
売上原価	1,167,038	382,380	-784,658
<b>売上総利益</b>	<b>-334,564</b>	<b>-235,822</b>	<b>98,741</b>
販管費	963,691	474,171	-489,520
<b>営業利益</b>	<b>-1,298,256</b>	<b>-709,993</b>	<b>588,262</b>
営業外収益	67,294	16,986	-50,308
営業外費用	403,154	106,348	-296,806
<b>経常利益</b>	<b>-1,634,115</b>	<b>-799,355</b>	<b>834,760</b>
特別利益	224,956	91,072	-133,884
特別損失	4,357,025	375,195	-3,981,830
<b>当期純利益</b>	<b>-5,334,817</b>	<b>-1,066,914</b>	<b>4,267,902</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>-5,120,709</b>	<b>-1,066,368</b>	<b>4,054,340</b>

## ■ 売上高

前期はアップライツ（当期1Qに連結除外）の売上高が695百万円含まれており、アップライツの売上高を除くと前期比9百万円の増加  
海外子会社のDAVIAや開発の売上が15百万円減少したものの、OKWのGRATICA・OKWAVE Plusの売上が26百万円増加したことによる

## ■ 売上原価

アップライツ連結除外の影響の他、地代家賃を販管費に振り替えたこと、人員減による減少等

## ■ 販管費

アップライツ連結除外の影響の他、経営再建に向けてコスト削減を行ったことによる減少（役員報酬、地代家賃、支払報酬・手数料、業務委託費等）

## ■ 営業外収益

PRAZNA（現PKSHA Communication）からの業務受託料16百万円の減少、為替差益の減少等

## ■ 営業外費用

資金調達や訴訟関連の支払報酬が発生  
（前期はRASTERIZE Co., Ltdに対するアップライツとの業務提携に係るアドバイザー報酬102百万円などが発生）

## ■ 特別利益

オフィス移転時の資産除去債務の取り崩し11百万円、第三者委員会にかかる保険金の受取50百万円、元役員との和解金27百万円が発生  
（前期は投資有価証券売却益、固定資産売却益が発生）

## ■ 特別損失

アップライツにかかる投資有価証券評価損309百万円、特別調査費用の引当金の追加計上29百万円等が発生  
（前期はアップライツ株式にかかるのれんの減損損失、投資有価証券売却損、貸倒引当金繰入等が発生）

# 連結PL (会計期間)

(単位: 千円)	FY2023/6				増減	
	1Q	2Q	3Q	4Q	3Q-2Q	4Q-3Q
売上高	37,182	36,306	35,776	37,292	-529	1,516
売上原価	112,445	102,184	85,069	82,681	-17,115	-2,388
販管費	201,888	102,177	88,898	81,206	-13,278	-7,692
<b>営業利益</b>	<b>-277,151</b>	<b>-168,055</b>	<b>-138,191</b>	<b>-126,594</b>	<b>29,864</b>	<b>11,596</b>

## ■ 売上高

広告売上が減少したものの、GRATICAのプラン変更および営業体制の見直しを行ったことにより、GRATICAの導入企業数が3Q比で39件増加したこと、海外子会社のDAVIAの売上増により、前四半期を上回る着地

## ■ 売上原価

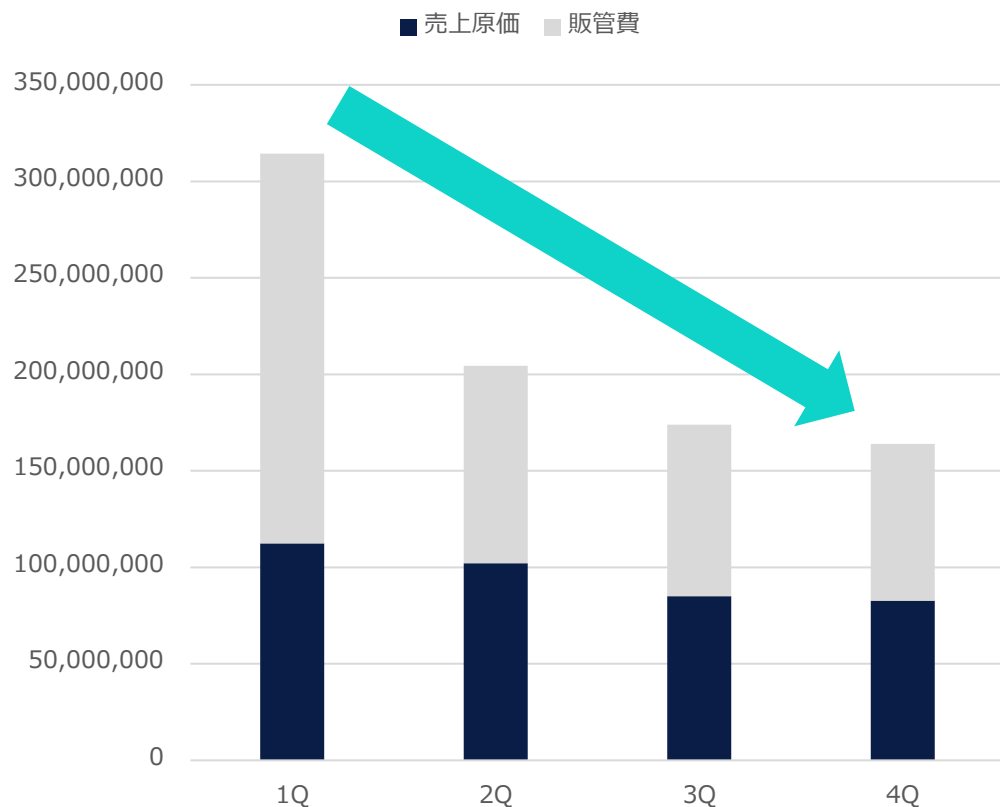
人員減に伴う人件費の減少、ツール見直しによるコスト削減を実施したことによる減少

## ■ 販管費

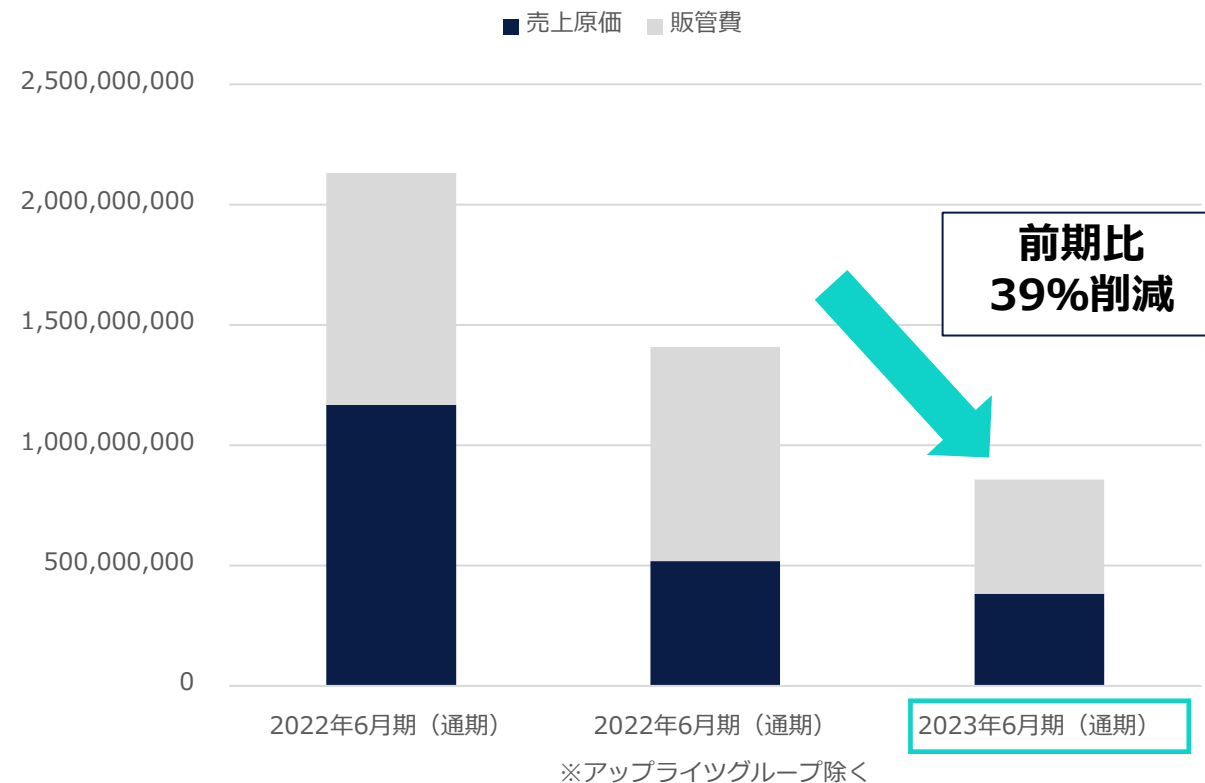
人員減に伴う人件費の減少、経営再建に向けて、コスト削減を実施したことによる減少（主に、ツール利用料、外部委託費等）

# コスト削減の取り組み

2023年6月期 四半期（3か月）推移



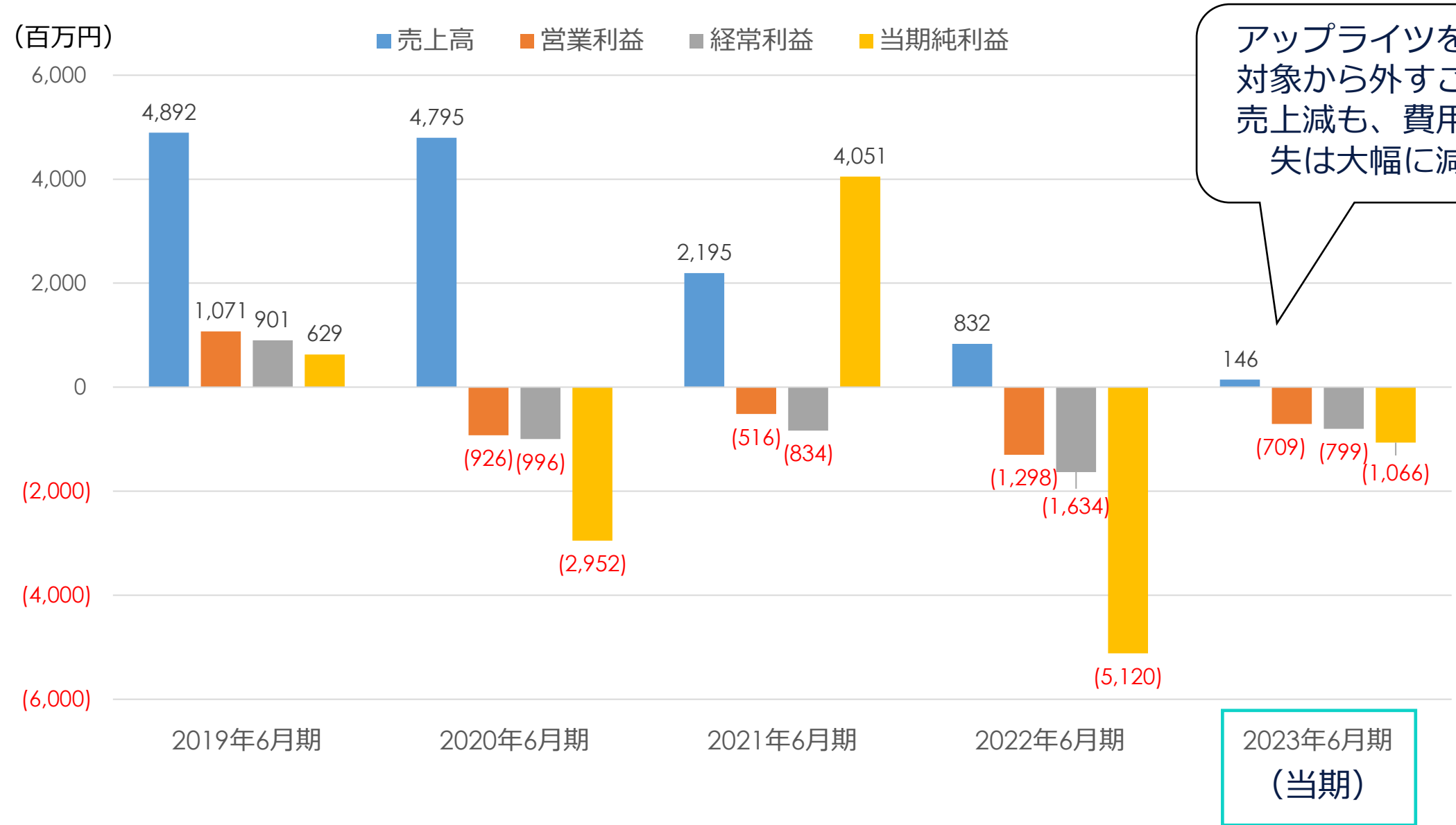
通期比較



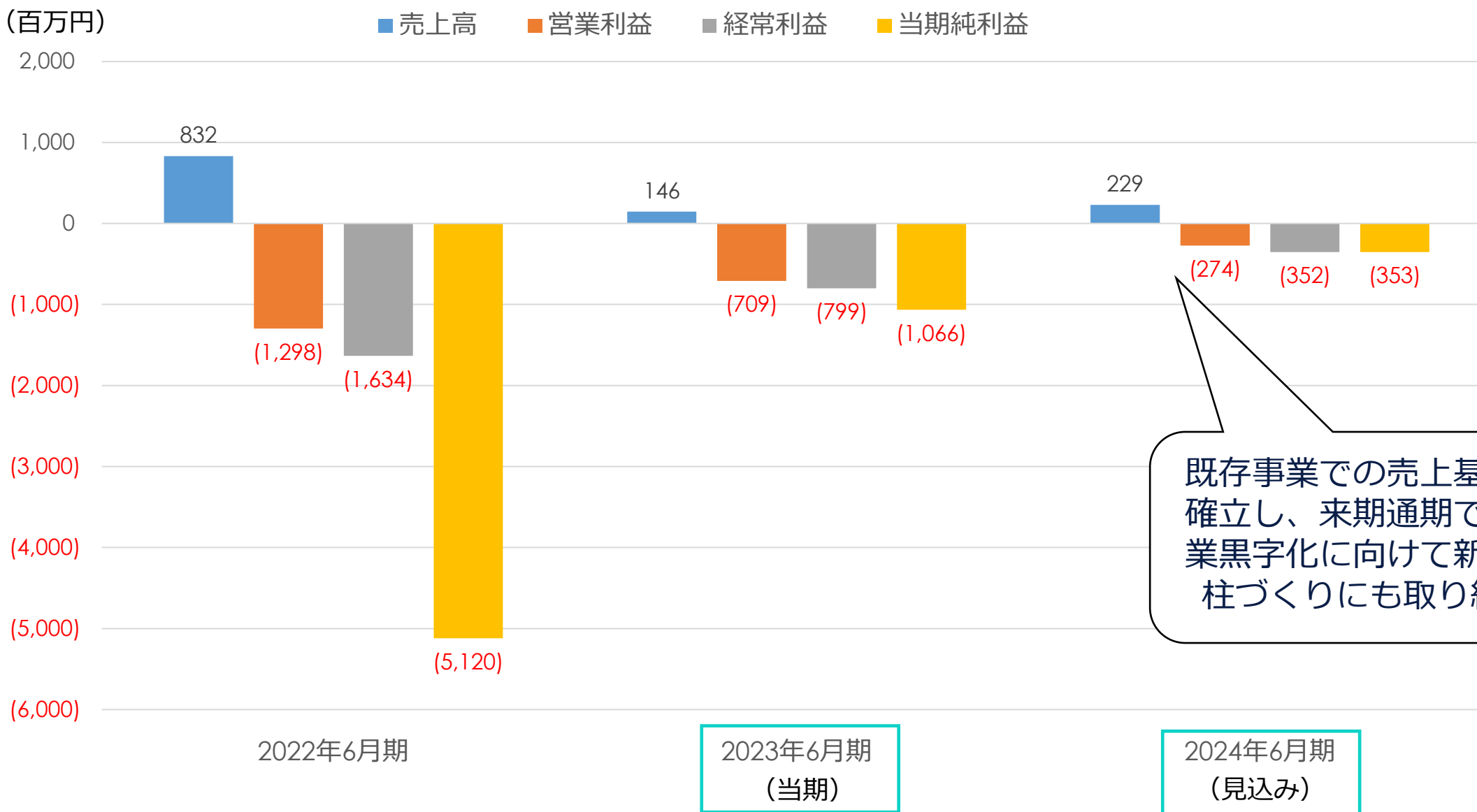
2023年6月期は継続したコスト削減の取り組みにより、コスト（売上原価+販管費）は前期比で39%削減。グループ再編、人員整理、社内の各システムツール見直し、セールス・マーケティング手法見直しなど。



# 業績推移（直近5か年）



# 業績見込み





## 目次

- 01 2023年6月期（当期）決算内容について
- 02 当期の事業状況について
- 03 内部管理体制強化の改善状況について
- 04 Q&A（Oshiete Kotaeru）

# サービス紹介

互助力を高める

サービス  
ソリューション

で

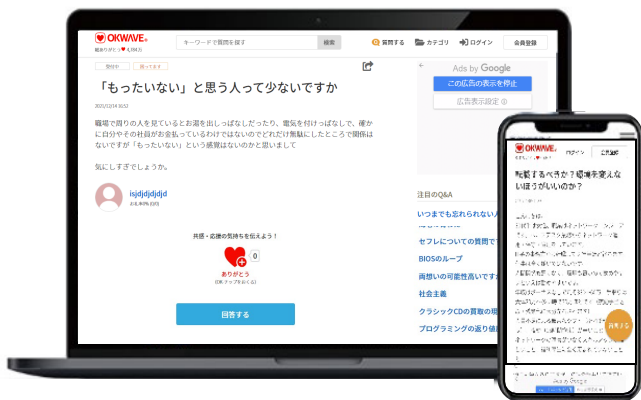
コミュニティ内の関係性  
組織の労働生産性

UP

助け合いの心でつながるQ&Aサービス



個人向け



Q&A形式で互助のコミュニケーションを作り出す

サポートシェアリングソリューション



法人向け

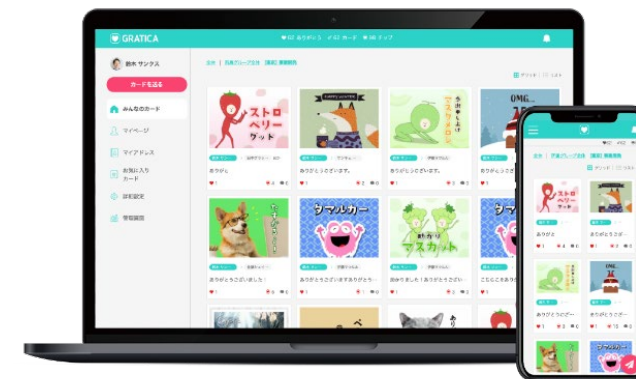


見える「ありがとう」の交換で互助の絆や関係性を生む

クラウドサンクスカード

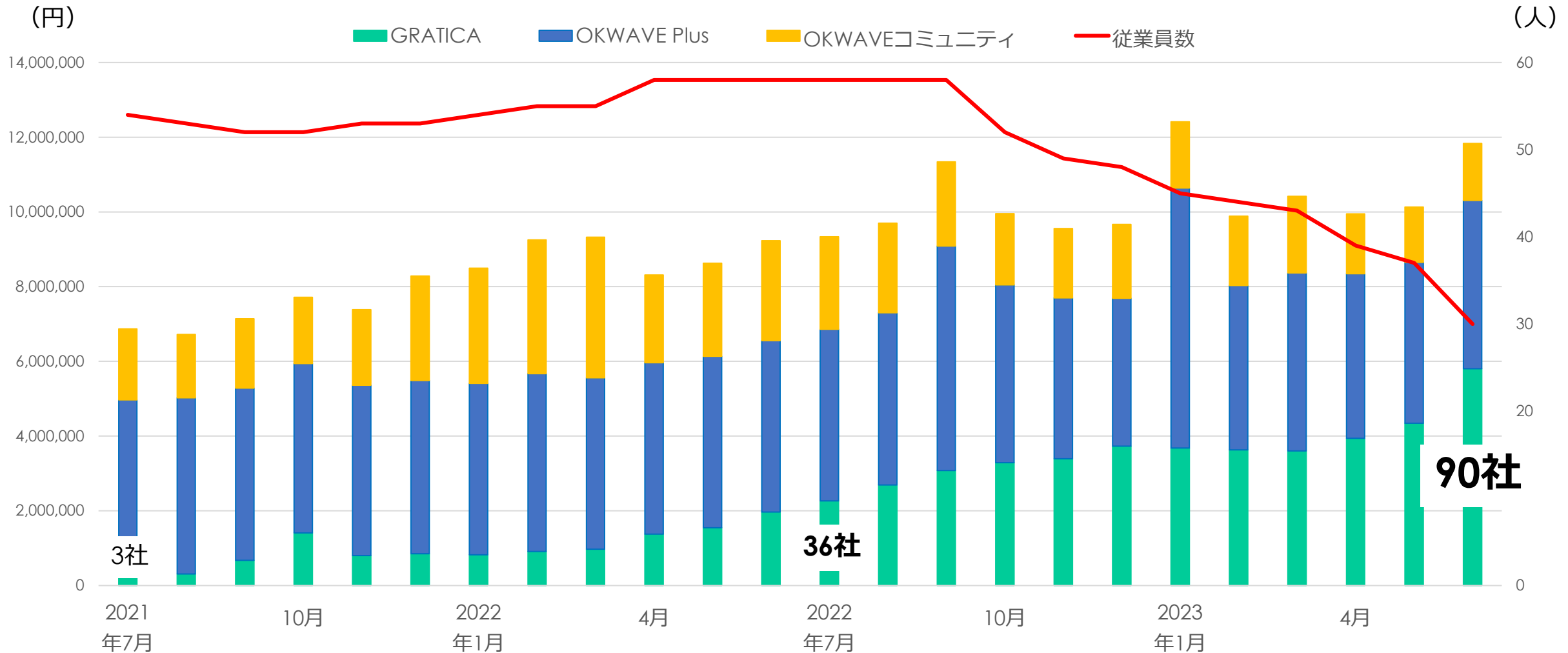


法人向け



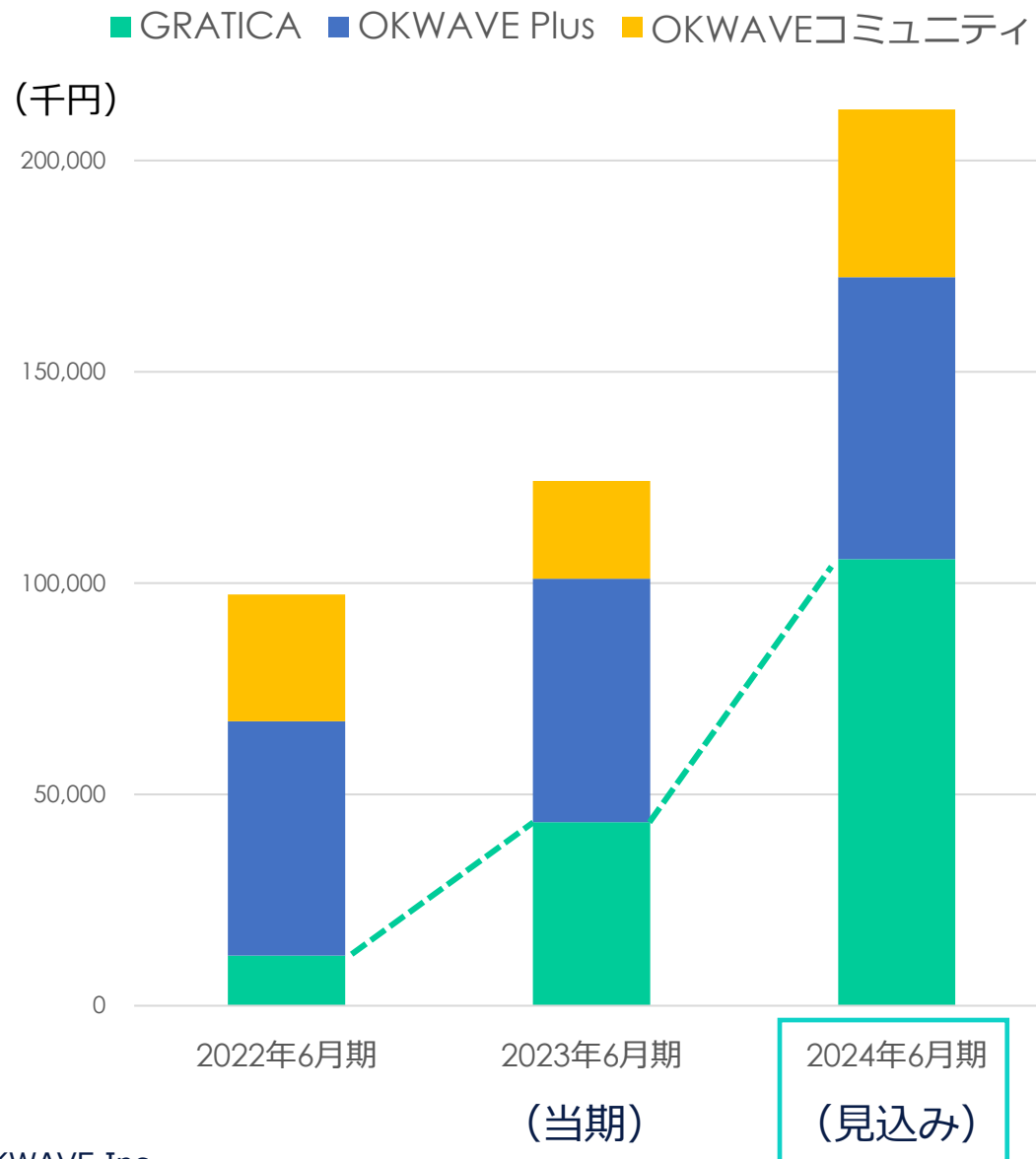
世界中の“ありがとう”の物語を蓄積し可視化する


# サービス別売上推移（前々期～当期）



- 従業員が大幅に減少する中で、単体の通期売上高は前年比125%に
- GRATICAの売上高は前期末比で約270%、社数で前期末比約250%の伸び

# サービス別売上推移見込み



- 
- GRATICAを軸としたマネタイズを行う
  - サンクスカードを各サービスに実装し、相乗効果をはかる
  - OKWAVEコミュニティのPVと広告単価向上策を実施



# Asset

20年以上の蓄積。  
投稿サポートの徹底により、  
企業や自治体も  
安心して使える場を創出。

会員数 **144**万人

月間来訪者数 **1289**万人

月間新規登録者数 **3455**人

質問総数 **825**万件

回答総数 **2667**万件

ありがとう総数 **4820**万件

※いずれも2023年6月末日時点の概算

[okwave.jp](https://okwave.jp)



# サービス紹介

互助力を高める

サービス  
ソリューション

で

コミュニティ内の関係性  
組織の労働生産性

UP

助け合いの心でつながるQ&Aサービス



個人向け



アクセス数の活用

サポートシェアリングソリューション



法人向け



サービスの連携・融合

クラウドサンクスカード



法人向け



Q&A形式で互助のコミュニケーションを作り出す

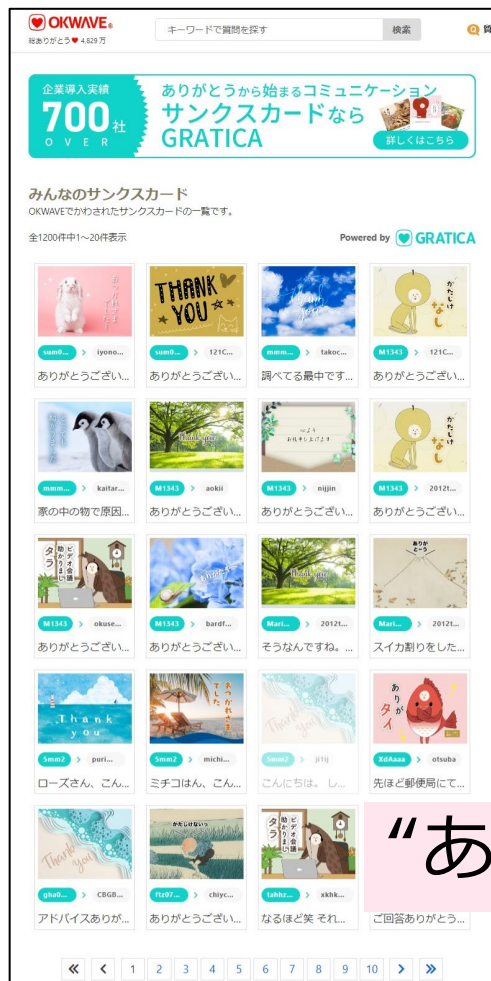
見える「ありがとう」の交換で互助の絆や関係性を生む

世界中の“ありがとう”の物語を蓄積し可視化する



# 「OKWAVE」リソースを活用した施策

さらにお礼の気持ちが飛び交うコミュニティ  
GRATICAのQ&Aコミュニティ実装



心理的安全性の  
高い場づくり

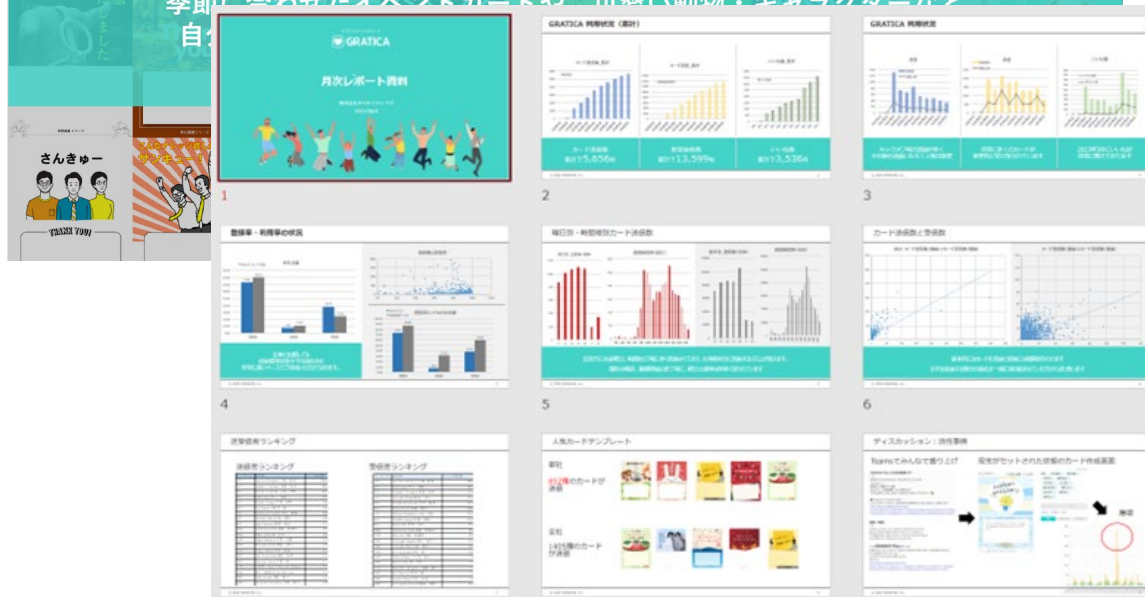
“ありがとう”の可視化

- 広くユーザーにサンクスカードを認知
- OKWAVE Plus への実装を行い、企業・組織向けや地域コミュニティ向けのSaaSを展開
- コンテンツ増による、PV数とUU数の増加を目指す
- サンクスカード広告やGIFTカードへの展開を検討



サンクスカードは**1000種類以上!**

季節に合わせたイベントカードや、可愛い動物・キャラクターなど



GRATICAの最大の特長は  
活性化のしやすさ



カスタマーサクセス体制の強化による、

- ① アカウント数増加  
(クライアント内での全社展開など)
- ② コンサルティングやオプションメニュー  
によるアップセル



クライアントあたりの単価を  
10万円以上に

# 生成AIの活用

ChatGPT要約を500コンテンツで検証済み。  
500万コンテンツに展開。

ChatGPTを活用したAI回答。  
OKWAVE Plus にも実装予定。

**職場の既婚者からの告白 PVがスマホ向け最大140%  
PC向け最大200%増加**

**返答がないことへの不満解消**

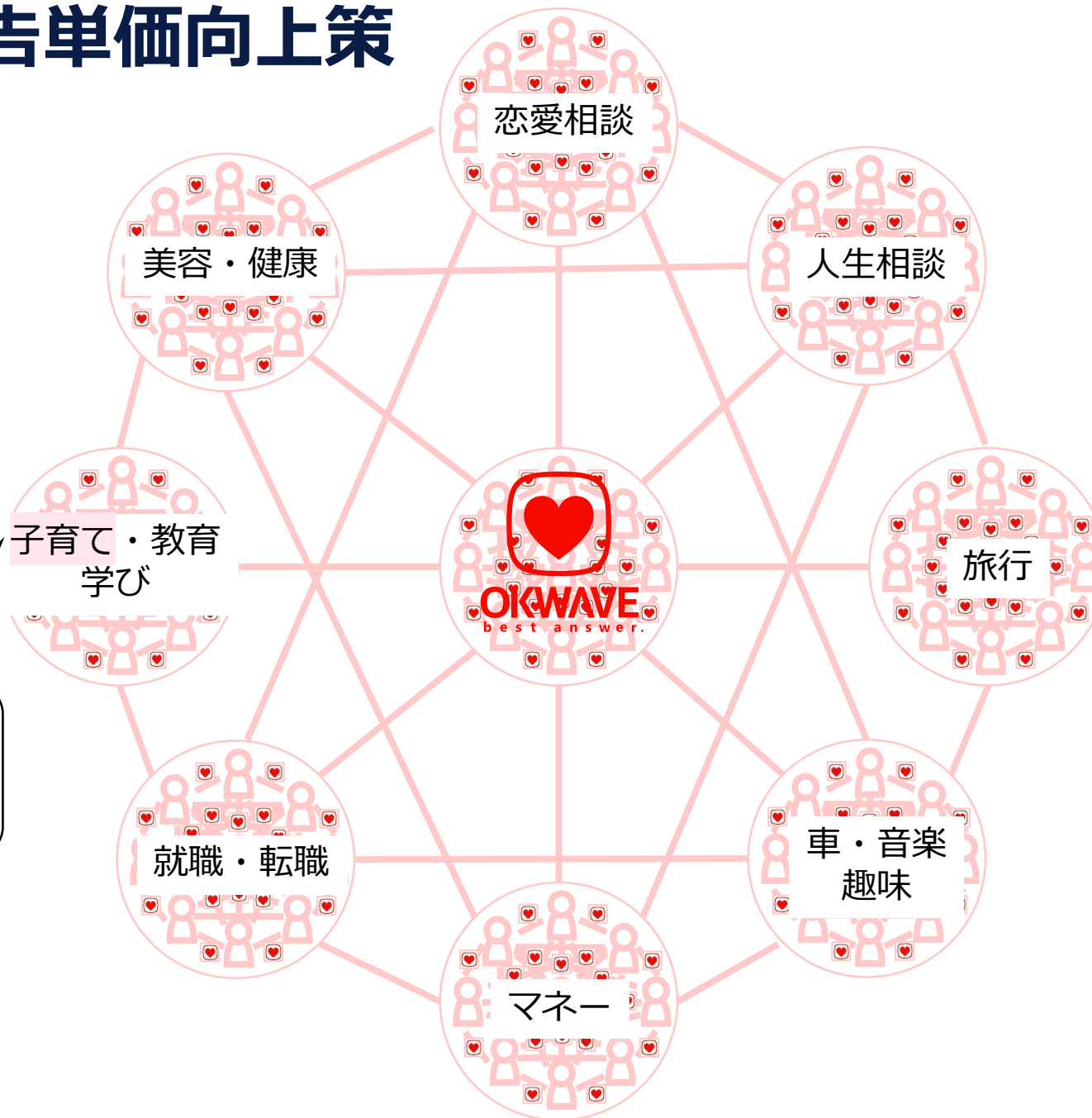
**24時間回答が付かない場合の自動回答**

# 「OKWAVE」の広告単価向上策

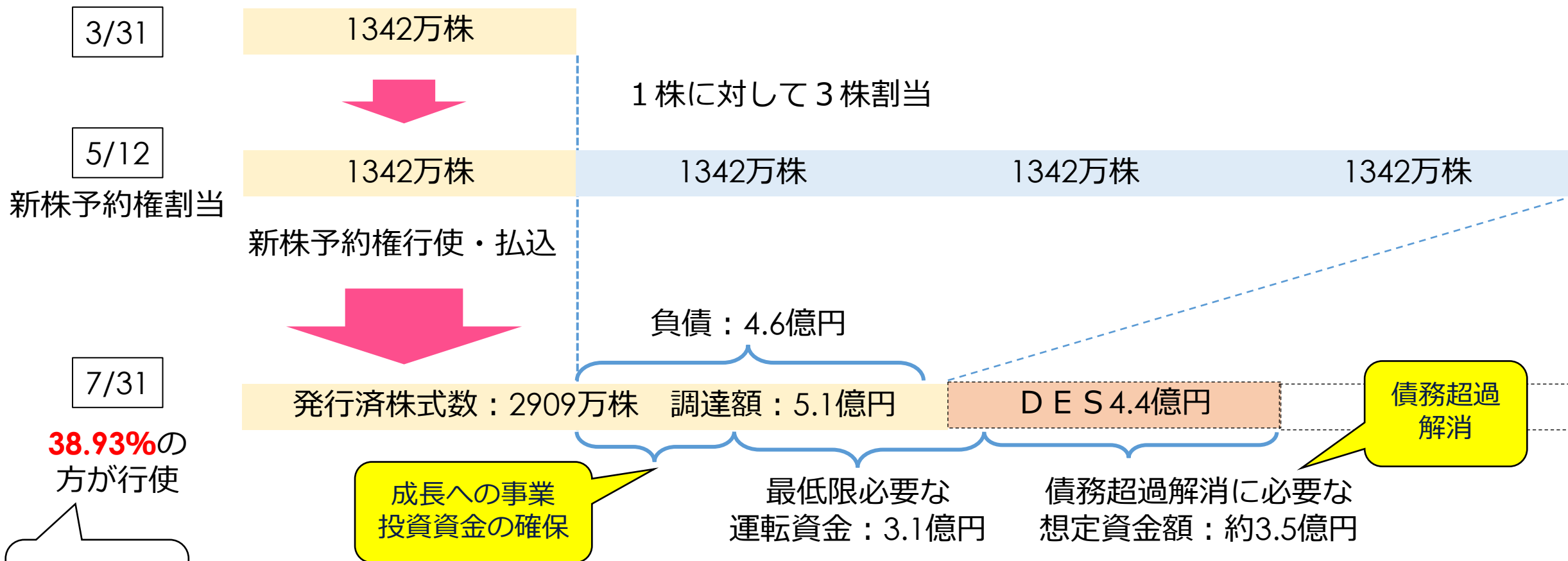
領域特化型のQ&A  
コミュニティを立ち上げ、  
メディア価値を高める

子育て  
美容・健康  
恋愛相談  
人生相談  
教育  
学び  
就職・転職  
マネー  
車・趣味  
旅行  
性 etc.

いつくし  
子育て相談室  
オープン



# ファイナンスの状況について



38.93%の  
方が行使

想定行使比  
率33%以上

**DESの実行により、債務超過の解消の確実性が高まり、  
監理銘柄指定・上場廃止のリスクが減少。  
調達資金を当社成長のために使うことができる**

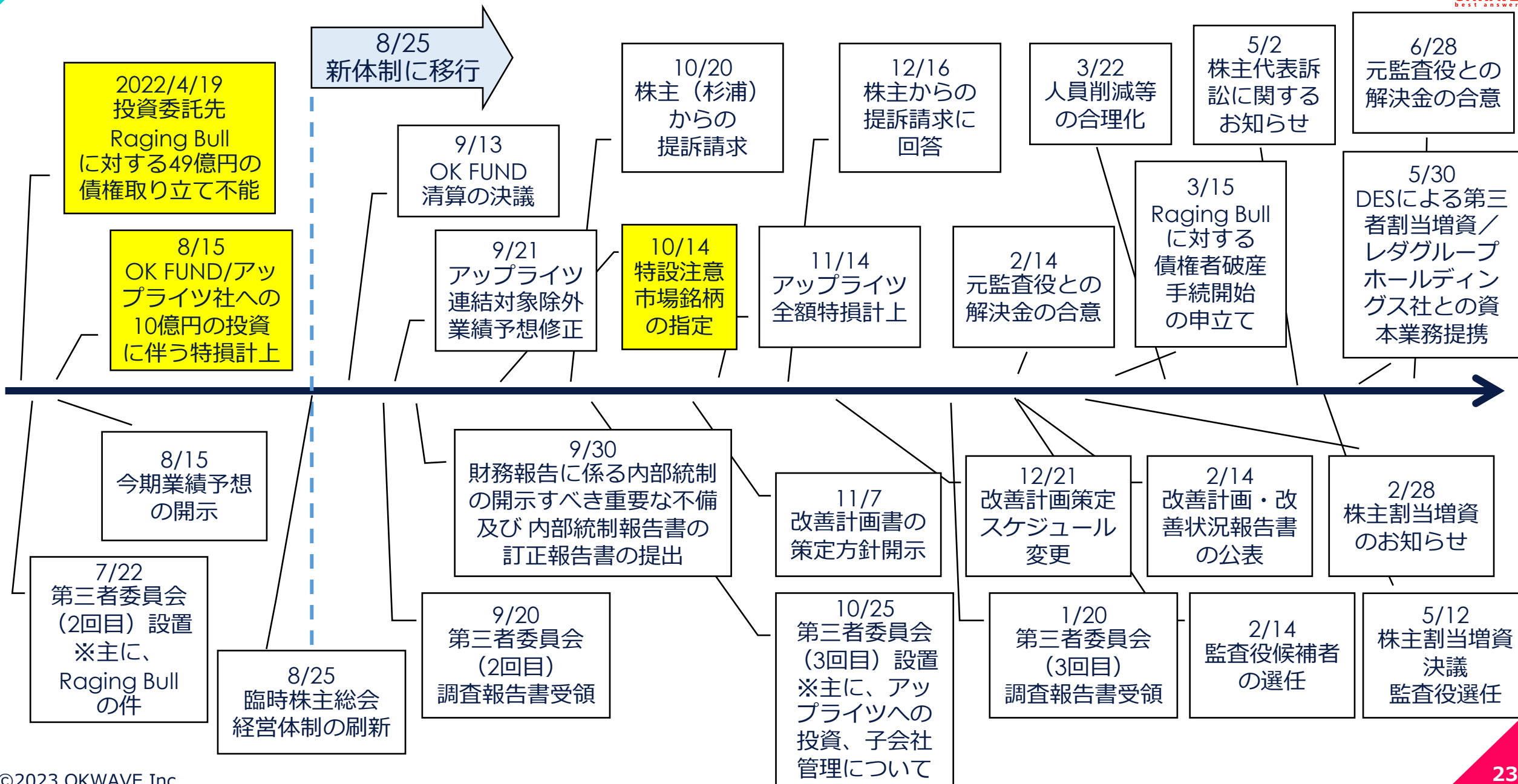


## 目次

- 01 2023年6月期（当期）決算内容について
- 02 当期の事業状況について
- 03 内部管理体制強化の改善状況について
- 04 Q&A（Oshiete Kotaeru）



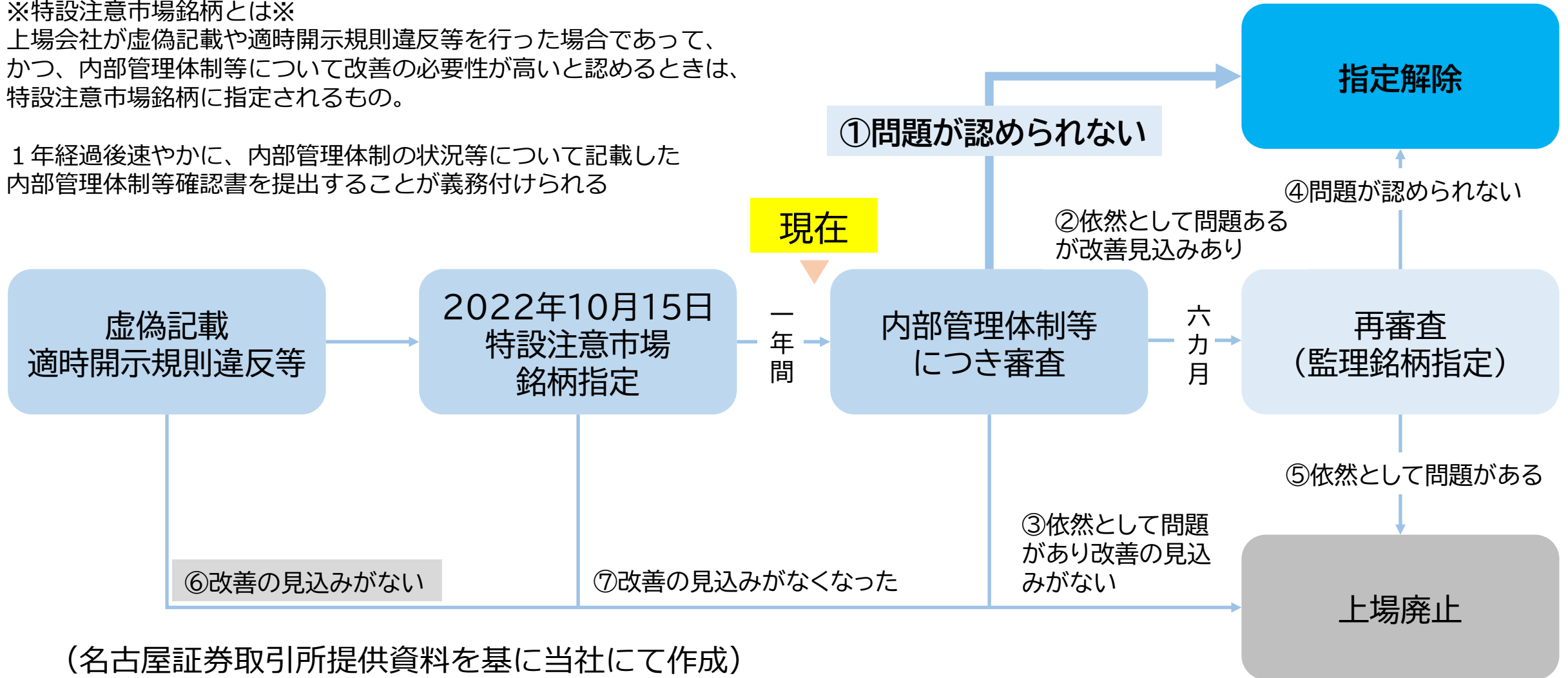
# 旧経営体制からの脱却と、これまでの取り組み



# 特設注意市場銘柄の指定解除に向けた取り組み

※特設注意市場銘柄とは※  
 上場会社が虚偽記載や適時開示規則違反等を行った場合であって、かつ、内部管理体制等について改善の必要性が高いと認めるときは、特設注意市場銘柄に指定されるもの。

1年経過後速やかに、内部管理体制の状況等について記載した内部管理体制等確認書を提出することが義務付けられる



(名古屋証券取引所提供資料を基に当社にて作成)



# 内部管理体制の改善状況について①

## 改善項目

## 改善計画

経営監視と業務執行を分離



2/1付で執行役員を選任、組織改編実施 **済**

管理部門の体制強化



2/1付で経理財務マネージャー 入社 **済**

開示体制の充実化、リテラシーの向上



予定通り 5 名体制 **済**

内部監査、CG委員会の実効性の担保



CG委員会再開、内部監査実施 **済**

稟議フロー、規程見直しおよび運用改善



新WF開始、規程見直し（4Q完了予定） **済**

投資に対する方針変更



運用を目的とした投資は一切行いません **済**

# 内部管理体制の改善状況について②

## 改善項目

## 改善計画

コンプライアンス意識の継続的向上



期末までに研修実施予定 **済**

経営陣と従業員間の風通しのよい社内文化の形成



期末までに社長と従業員1on1面談実施予定 **済**

社外役員選任基準の策定



策定、取締役会承認 **済**

子会社管理方法、ルールの明確化



子会社再編予定につき方針変更 **進行中**

取締役会、監査役会運営の見直し



指名報酬委員会設置 **済**

旧経営陣に対する責任追及



株主代表訴訟提起、RB破産申立て **済**

# 旧経営陣に対する責任追及

## ① Raging Bull に関して

### (1) 株主代表訴訟の開始 (5/2)

現在、当社株主である杉浦元からの株主代表訴訟を提起。

旧経営陣に重大な善管注意義務違反・任務懈怠があったものとして、34億3459万7500円と年3分の利息を加えた金額の支払いを請求。

### (2) 債権者（当社）による破産手続開始

3/15に債権者破産手続開始の申立てを行い、一部報道の通り、5/10に破産手続きを開始。

## ② OK FUNDを通じたアップライツ社への投資の件

双方代理人弁護士で責任について協議継続。OK FUNDの清算は予定通りで手続中。

# 経営再建に向けた今後のプロセス





ありがとうございました。

ご清聴 おおきに

んじん



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これら見込みは、現在の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。